

手がかり③ 登校しやすい環境づくり

個別に支援できる場所や時間帯を確保することで、教室に入りづらい子どもたちが安心して登校できるとともに、教職員のさまざまな支援の工夫をしています。

一日のタイムスケジュール（3人の例）

時間	Aさん	Bさん	Cさん
朝の時間		気持ちを落ち着ける 学校に近づくとしんどい気持ちになり、涙がとまらなくなる。1階KSRでゆっくりし、気持ちを落ち着けて3階KSRに上がる。	今日の予定の確認 今日の自分の動きを担任と相談する。本人の意思を尊重し、何をするのかどこで過ごすのかを決める。
1時間目	登校 今日の予定の計画 今日の行事や自分のやりたいこと、課題などを踏まえて、一日の予定を計画する。	今日の予定の計画 自分で計画を立てるのは難しいため、本人の課題である計算ドリルや漢字ドリルを中心に計画を立てる。 あくまでも最終決定は児童に委ねている。	教室で授業を受ける
2時間目	自学自習 KSRには様々な学年が在籍しているため、一斉授業ができていない。そこで、個別に関わり、学習をサポートしている。	自学自習	教室で授業を受ける
15分休み	KSR内で友達と話をしながら楽しんでいる。先生やクラスの友達が訪れ、一緒に過ごすこともある。	KSR内で友達と話をしながら楽しんでいる。	
3時間目	自学自習	自学自習	図書室で読書 続けて授業をうけたり課題に取り組んだりするのは難しいので、中休みとして読書の時間を設ける。
4時間目	みんなの時間 異学年間での活動の場を設定し、人とのコミュニケーション能力や調整能力の育成を図っている。	みんなの時間 	別室で学習・プリントの課題 計算問題や漢字練習等、基礎基本の課題をする。本人の負担になりすぎないように相談しつつも、学習の遅れを取り戻すための課題を課すようにしている。できた時には、シールを貼ったりスタンプを押したりすることで頑張りを称賛するとともに今後の自分の課題を確認できるようにする。
給食	保健室で食べる トイレが近く安心して給食を食べることができる。	KSRで食べる KSRの友達と一緒に給食を食べている。	教室で食べる 給食当番も責任をもって取り組む。
昼休み	保健室やKSRで過ごす お腹の調子がよければKSRで過ごし、クラスの友達とも廊下で話をしている。	下校する 迎えに来た保護者に今日の様子や頑張りを伝える。	保健室や通級教室で過ごす 様々な先生や友だちとかわることで、担任には話せないことも相談できる関係をつくる。
5時間目	オンライン授業 オンライン授業の申し出があれば、担任の先生と確認し、オンライン授業を実施する。 		体育の見学 体育に興味はあるが、一緒に参加することは難しいので、見学をして過ごす。自分ができそうなところや道具の準備、片付けには参加する。
6時間目	漢字ドリルを進める。		委員会に参加
放課後	明日の確認 明日の行事予定や、やるべきこと、迎えに来られた保護者とともに確認し、今日の成果をふり返る。		1日の振り返り 1日の頑張りを称賛する。担任と一緒に宿題をする。1日過ぎてうれしかったこと、困ったことなど気楽に話せるリラックステキな時間とする。